

■ 「タカテツのひとり語り」

— 「人間の本性」と「キャンセルカルチャー」 —

さて、皆さん、“いじめやパワハラは人の本性”（社会性）だとしたら…にわかには納得し難いですよ。実はこれが脳の基本的仕様だと言うのです。アメリカの調査で従業員の3人に1人がハラスメント被害経験者とのことですが、加害者になったことがあると答えた人は0.05%（1/2000人）だったそうです。つまり、脳は「被害」を極端に過大評価し「加害」を極端に過小評価するようになっているとのこと…チト思い当たるフシも（汗）。

これは人類の進化の歴史に源があるとのこと、旧石器時代の人類は30～50人程度の小集団（バンド）から150人を上限とする共同体（クラン）の中で暮らし、また共同体の集団が1,500人ほどの部族（トライブ）で“婚姻”を行っていたとのこと。さて、この集団の中で男や女が互いに求め合うとした時に、序列が下だとこれを獲得できないことになり、この序列を上げることが必要だった…これが大問題！それは、目立ちすぎると反感を買い、共同体から追い出されて死ぬ。一方目立たないとパートナーを獲得できず、子孫を残せないというトレードオフに陥る訳です。ここでの作戦が“目立たずに目立つ”（自分を有利にする）ことであり“噂話”が強力なツール、要するに自分に追及がこないように相手を陥れる…これで“社会脳”が極端に発達したとのこと（コワッ）。



近年の脳科学では、自分より下位の者と比べる下方比較では脳は“報酬”を感じ、上位の者と比べる上方比較では“損失”を感じるのだそうです。また別の研究では、ルール違反をした者を処罰する時にも脳の報酬系が活発化するそうです。正義をふりかざすことで、脳は快感を覚え、上位の者を貶めることはより嬉しく、現代社会にとって正義が“エンターテインメント”（娯楽）なのだそうです。

SNSで誰かを袋叩きにする“正義の鉄槌”こそがキャンセルカルチャーであり、“妬む、足を引っ張る”これが本性、この醜い姿が己かと（涙）。でも足を引っ張られる人は、上位と見なされているということですかね。“人の失敗、蜜の味”というのも納得ですが、何とも後味が悪い…さて皆さんは如何。

■ ROKENワークス・アカデミーだより

— 「脳の公式」と応用の試論（はじめに） —

創造力 = 想像力 × 行動



前回で「ROKEN 的研修の考え方」を終え、新シリーズとして仕事力にまつわる脳の働きのメカニズムについての応用的試論を書いていきます。

経営者はよく“革新的、創造的になれ”“失敗を恐れるな”“リーダーシップを発揮せよ”とか口にしますよね。じゃあどうすればいいのか、御自分もできているか、となると（…?）。こんなことはありませんか？

もとより革新って何、創造って何ってことから問題なのですが（笑）。実は、これは脳の働き方・使い方に大きく関わっており、全ての人ができることではないようです。かつて超売れっ子コンサルタントの山田太一さんは“「革新」とは100人中99人がNOと言うことをやることだ”と言っていました。

ということは、100人中1人なら大方はやれません、ということになりますよね（笑）。創造というのは、今までに無いものだから創造ですよ。勿論、私も自信がありません（トホホ）。

実は、これができる人は絶えざる好奇心・興味・関心と想像力を持ち、同時に人の批判に耐え得る精神的、肉体的持久力、忍耐力を必要とします。いわゆる成果を出し続ける力（コンピテンシー）で言うとレベル5（状況創造行動）の人で“何百人に一人”、その下のレベル4（状況変革行動）でも約5%もいるかどうかだそう。そして、これらの人は普通の人から見れば“独善的奇人、変人”に見えるそうです…使う自信ありますか（笑）。ですから、これから述べることはレベル3（能動行動）の“今ある状況の中で工夫や明確な意図や判断に基づく行動を取れる人”を前提として脳と仕事力、リーダーシップ等について公式を用いて述べたいと思います。因みに創造力 = 想像力 × 行動であり、脳の公式 Y = a X に起因します。続く。

■ ROKEN提供システムズ

— 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

- ・ 電子申請システム（義務化近し）
- ・ 給与計算（明細書電子配信）
- ・ 出退勤指紋（カード）認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター
TEL: 23-7233 FAX: 23-7236
E-Mail: center@roken.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研
TEL: 24-8060 FAX: 24-8069
E-Mail: academy@roken.jp

roken 検索